

令和元年度 教育委員会事務局長「政策宣言」中間報告

教育委員会事務局長 松 長 勝 弘

○ 令和元年度重要事業

事業名	確かな学力の定着
目 標	<p>一人ひとりに応じた学習指導体制の充実を図るため、チームティーチング指導員及び学習サポーターを増員配置し、きめ細かな学習指導や生活指導を行い、学習意欲の向上に努めます。</p> <p>また、新学習指導要領の全面実施を目前に控え、引き続き、小学校にALT及び外国語活動指導員を配置するとともに、大学生の英語学習パートナーを派遣し、英語教育の推進を図ります。</p>
進捗状況	<p>中学校にチームティーチング指導員9名、また、小中学校には学習サポーター41名を配置し、きめ細かな学習支援を行うことにより、児童生徒の学習意欲の向上と基礎学力の定着に努めました。</p> <p>また、来年度から小学校で教科化となる英語教育に備え、ALT4名、外国語活動指導員4名に加え、英語学習パートナー8名を小学校へ配置し、学級担任と連携した指導体制の充実を図りました。</p>
今後の対応	<p>引き続き、個々の児童生徒の学力と理解度に応じた学習指導を推進します。</p> <p>また、英語教育については小学校教育研究会外国語活動部会を中心に授業研究等を行い、実践的指導力の向上に努めます。</p>

事業名	教育環境の充実
目 標	<p>小学校に続き中学校において無線LANを整備し、あわせて児童生徒用のタブレットパソコン、大型モニターやプロジェクター等の整備を進め、教育のICT化を推進します。</p> <p>また、歌の森小学校及び小杉南中学校の大規模改造工事、大門中学校の長寿命化工事を引き続き実施します。</p>
進捗状況	<p>全中学校の無線LAN整備を完了し、タブレットパソコンや大型モニター等のICT機器の整備については、11月末に全小中学校への整備が完了する予定です。また、8月下旬には、教員を対象に新たな教育用ソフトウェア等の操作説明会を開催しました。</p> <p>学校施設整備については、予定していた大規模改造及び長寿命化改良工事を発注し、工事は工程どおり順調に進んでいます。</p>
今後の対応	<p>新学習指導要領の実施を見据え、引き続き、ICT教育環境の整備を進めます。加えて、全小中学校にICT支援員を配置し、学校への支援体制を充実するとともに、研修会や公開授業を開催する等、ICT機器を活用した授業力の向上を図ります。</p> <p>学校施設の整備については早期の事業完了に努めます。</p>

事業名	生涯学習とスポーツの振興
目 標	<p>地域の特色に応じた生涯学習活動を支援するとともに、昨年度作成した「学び通帳」の普及を進め、講座や学級等への参加機会の拡充を図ります。</p> <p>また、スポーツ施設の整備として、老朽化した海竜スポーツランドの熱源機械を更新するとともに、フットボールセンターの整備に向け、基本計画及び基本設計の策定に着手します。</p>
進捗状況	<p>生涯学習活動への更なる参加意欲の向上を目的として、希望する22地区のコミュニティセンターに「学び通帳」を配布し、講座や学級等への参加機会の拡充に努めました。</p> <p>スポーツ施設の整備については、海竜スポーツランド熱源機械更新の設計に着手しました。</p> <p>また、フットボールセンターの基本計画策定については、民間ならではの発想と創意工夫にあふれた提案を反映するため、プロポーザル方式により事業者を選定し策定に着手しました。</p>
今後の対応	<p>多くの方々に地域の学習活動を知ってもらい、参加してもらう取組が重要であることから、引き続き「学び通帳」の普及を進めるとともに、各種媒体を活用した広報活動を推進します。</p> <p>また、海竜スポーツランド熱源機械の更新に向け、設計を進めるとともに、フットボールセンターについては関係機関や団体と協議しながら、基本計画及び基本設計の策定に取り組みます。</p>